

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 180 2021.6.1

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

生誕 150 年記念

ようらんき 企画展『島村抱月揺籃期展』

ふるさとの偉人、文豪「島村抱月」の生誕150年を記念して企画展「島村抱月揺籃期展」を開催します。抱月は明治4年1月10日に金城町小国で父佐々山半三郎、母チセの長男として誕生した。幼名瀧太郎。20歳の時に島村文耕と養子縁組により島村姓となる。

抱月の祖父一平は、金城町波佐の長沢鉦に従事中に久佐庄屋の佐々田家から請われて天保11年に久佐村白甲鉦の支配人となり、業績を挙げ嘉永元年、津和野藩より佐々山姓が許された。父半三郎も白甲鉦で生まれた。文久3年には、金城町小国の田野原鉦へ移転操業中に半三郎は益田の大谷家のチセと結婚した。祖父一平は安堵したかのように永眠した。その後、相場に失敗して鉄山を退去して小国下土居へ移転した。明治3年に一平名を襲名した。佐々田家から許しが解け、高原鉦の打入れに明け暮れていた。抱月は下土居で誕生した。翌4年1月10日待望の長男瀧太郎が誕生した。5年2月の浜田地震により高原鉦が壊滅した。止む無く大前鉦で操業することとなり一家は大前鉦へと移転した。8年秋に再び小国村屋敷町に戻り負債を整理して、10年には下土居に戻った。14年5月、久佐村熊屋へ移転した。抱月は久佐小学校で2年間学び、青雲の志で浜田町へ出て薬局見習いで夜学の勉強をした。その後、浜田裁判所の給仕となり、島村文耕判事と運命的な出会いがあった。

今回の展示は、抱月の揺籃期を中心に抱月三代の係累を中心に生誕150年記念企画展として公開します。



会場：浜田市金城歴史民俗資料館

浜田市金城町波佐イ 426-1

TEL 0855-44-0146

会期：6月5日(土) — 4年1月30日(日)

開館日：土・日曜日(9:00-17:00)隣接の浜田市民俗資料館と共通券です。

団体等で、上記以外をご希望の場合は、前日までに電話予約(☎090-4697-2818)下さい。

入館料：大人 300 円、中人 100 円、小人 60 円、団体割引は、25 名以上です。

只今、「波佐まるごと博物館」のスタンプラリー帳を提供中です。